



『ご訪問の聖母マリアと創立記念日』

副校長：武藤 浩之

今回の巻頭を書くにあたり、かつて作成したパワーポイント資料のことをふと思い出しました。6年前の2013年6月28日。全校朝会で『創立記念日は学校の誕生日』という話をしたときの資料です。

朝会では、誕生年から数えた本校の年齢として、三つ取り上げました。まずは73才。桜の聖母学院初等学校設立から数えた場合です。次は87才。五人のシスターがカナダから福島に来た年を始まりにすると、こうなります。最後は341才。起点としたのは、創立者マルグリット・プールジョワがカナダのモントリオールで学校の仕事を始めた年です。どれもこじつけと言われればそれまでですが、要は創立に関する話を通して、子ども達に、学院の歩みの長さを少しでも感じ取って欲しかったのです。

ところで、なぜ7月2日が創立記念日なのでしょう。聖書には『大天使ガブリエルのお告げにより、聖母マリアが親戚のエリザベットを訪問したこと』が記されています。それを記念するために、全世界のカトリック教会では7月2日を祝日の一つとしてきました。

エリザベットの住む町までは険しい道のりでしたが、聖母マリアは困難を苦ともせず、むしろ欣然として訪問しました。聖母マリアのその精神は、創立者マルグリット・プールジョワによる修道会設立と全世界での教育活動、そして、本学院創立の精神・理念へとつながっていきました。近年、カトリックの教会暦では、『ご訪問の聖母』の祝日が5月31日になりながらも、『本学院の創立記念日は7月2日』を継続しています。

私学は、各校それぞれに創立者の精神があります。本学院の場合は、ご訪問の聖母マリアの精神、つまり他者への共感と奉仕に向かう精神と言えます。明日の創立記念日は、その精神を振り返る日でもあります。



卒業生と共に学ぶ～国語の体験授業～

六月十三日は聖母中体験だった。仲良しだった昨年度の卒業生にも会えて嬉しかった。まず、説明会があった。生徒手帳や生徒会、行事のことなどの詳しい説明があり、参考になった。一番の思い出は、部活動体験だ。私は、吹奏楽部を選んだ。音楽室に入ると、色々な音がした。私は、トランペットのところに行った。トランペットを担当していて、もう一人の二年生と一緒に教えてくれた。トランペットは早く終わってしまったので、次にサクソスに行った。アルトの方をやらせてもらった。木管のリードは初めてだ。残りの時間で吹けるかどうか不安だったが、桜花さんがいてねいに教えてくれたので、音を出せた。

聖母中体験は、とても楽しかった。学んだこと、参考になったことが、たくさんあった。もうすっかり「中学生」になった先輩たちと、部活動をする楽しさも分かった。とてもためになる一日になった。

六年生による「聖母中体験」

六年一組

ご協力ありがとうございました

◇6月8日(土)に、今年度1回目の「資源回収」と「ベルマーク作業」を行ないました。

- ・資源回収…………… 円
- ・ベルマーク作業…………… 点

◇次回11月2日(土)におきましても、ご協力のほど、よろしくお願いします。学校側担当(湯川 定方)

夏休み中の「プール使用」

◇今年度から夏休み中の「プール使用」を再開します。

《期間》8月1日(木)～8月3日(土)
《時間帯》10:00～11:30

《対象》本校の児童(1年～6年)のみ

◇その他の連絡事項につきましては、後日、改めて体育科からお知らせします。(湯川)

創立記念日朝会

◇巻頭言で「創立記念日」について述べました。6月28日(金)に、これに関する行事を行ないました。「創立記念日朝会」です。

◇今回の話者は、中津教頭先生でした。内容は創立者：マルグリット・プールジョワについてです。カナダ研修の写真を交えての話し、子ども達は興味深く聞き入っていました。



パワーポイントを使っ話(クイズもありました)

学院祭に向けて

◇「学院祭」が少しずつ近づいて参りました。当日までの予定は、次の通りです。ご協力のほどよろしくお願いします。

『協力費』納入期間⇒事務ポスト

●7月3日(水)～7月5日(金)

『現物協力品』受付期間⇒担任(提出用紙貼付)

●8月26日(月)～8月30日(金)

手芸1品以上 / 何でも1品以上 / 子ども2品以上

*その他:古本、食品、制服リサイクル、手芸、工作用材料等

令和元年度「第1回 学校説明会」

◇日時：令和元年7月6日(土) 10:00～12:00

◇対象：外部園児および保護者、内部園児保護者

◇概要：英語絵本のリーディング(6年生)、説明会、体験授業(英語)、自由参観

*お知り合いの方に、ぜひお声をかけて下さい。

ミニコラムNo.43 『子ども達に学んでほしいこと』

英語科：五十嵐ゆくみ

先日、講堂で行なわれた全校合奏。聖母小の合奏の素晴らしさは鼓笛の演奏を聴いて知っていましたが、講堂で5、6年生の「SKY HIGH」を聴いたのは初めてでした。私は、加藤いづみ先生の指揮と一体となったその演奏に圧倒されました。胸に熱いものが込み上げてきて、すっかり最後まで聞き入っていました。本気で何かに取り組む姿、努力する姿は、見ている人や聴いている人を感動させるものです。

私は高校時代、応援団のチアリーダー部に所属していました。毎年春や夏には、応援団と一緒に野球部の試合の応援に行きました。野球部の部員達は、早朝、放課後、休日と毎日練習に励んでいました。そんな野球部員が試合で必死に戦う姿に、応援している身でありながら、いつも元気と勇気をもらっていました。もう一つ、私がチアをやっていた好きだったことは、全校応援です。年に何度か、在校生と一緒に応援を盛り上げることがありました。応援席全員が一体となって、校歌や応援歌を歌ったり、かけ声をかけたりします。その時の熱気、エネルギーは今でも忘れません。

仲間と一緒に何かを創り上げる楽しさ。そして、そこには決して一人ではできないエネルギーが生まれること、一生懸命頑張る姿が他の人にまで力を与えるということを、ぜひ学校生活の中で子ども達に学んでほしいと思います。